

国内最古!!

いぬくぎ 犬釘 発見!!



石見銀山で国内最古の犬釘がみつかりました。明治時代にトロッコのレールに使用していたもので、形が犬の頭に似ているので、

犬釘=ドッグスパイク

と呼ばれています。



犬釘を調査する
研究員



日本初・奇跡の発見

工業用の小型犬釘は日本初の発見例!

120年前の犬釘と枕木が現地に残っていたことは奇跡的!!

推薦産業遺産認定

この貴重な犬釘は産業考古学会の2019年度の推薦産業遺産に認定され、石見銀山遺跡の学術的価値を高める発見の一つになりました。

犬釘を見に行こう

発見された犬釘は石見銀山世界遺産センターで実物を見ることができます。

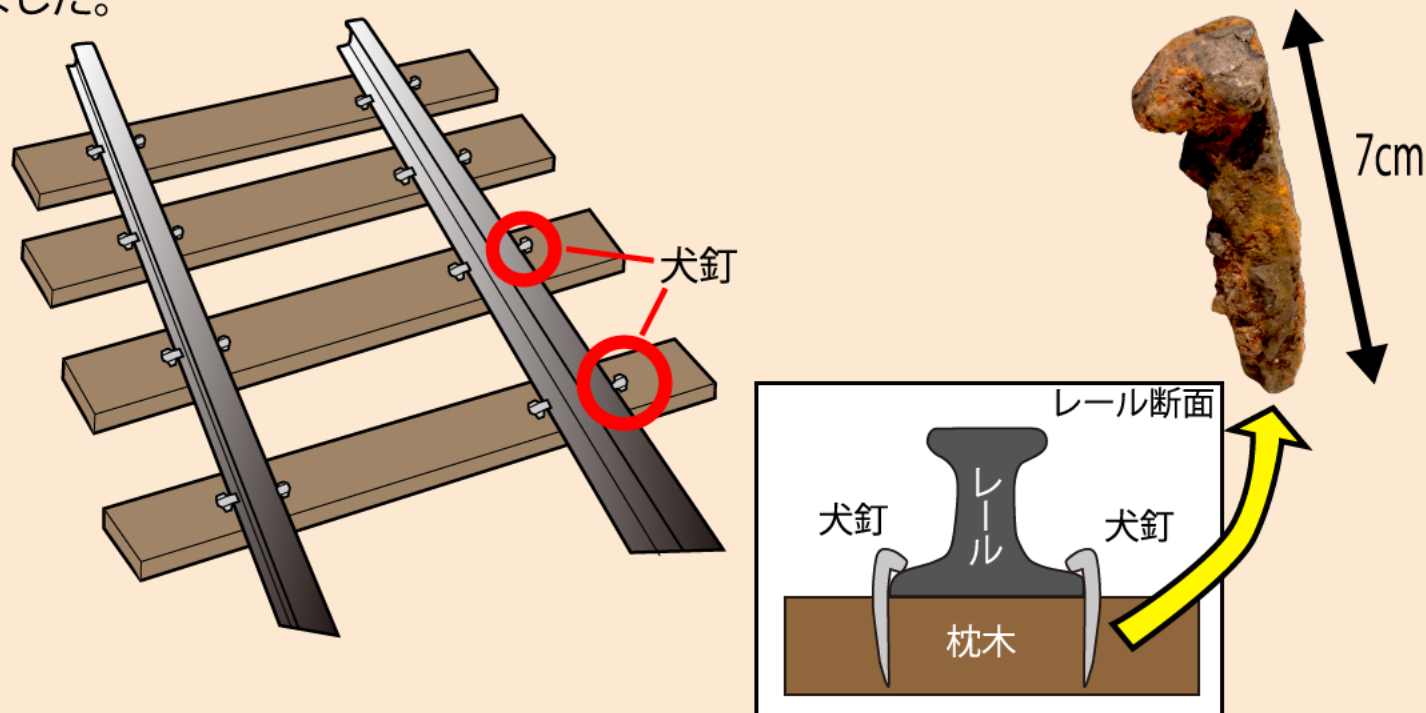
解説

世界遺産石見銀山最大級の^{まぶ}間歩（銀を採掘した坑道跡）「^{おおくぼ}大久保間歩」の坑内で国内唯一で最古のドッグスパイクが発見されました。発見された犬釘は、明治時代に、銀の採掘で使われた作業用トロッコのレールを枕木に固定するために用いられていました。釘の頭の形が犬の頭に似ていることから「犬釘（ドッグスパイク）」と呼ばれています。

坑道の中で、枕木に打ち付けられたままになったものや、坑道上に転がっていたものなど、11本が発見されました。この他、^{しみずだに}清水谷精錬所跡で発掘された遺物の中にも23本の犬釘が含まれていることも分かりました。

明治時代、犬釘は欧州から輸入され、国内の鉱山や鉄道で使用されていましたが、使用により摩耗するため現存するものは少なく、鉱山で使用した犬釘が現地に残っているのは国内で唯一の発見です。今回、石見銀山遺跡で発見された犬釘は120年前のもので、文献からドイツ製とみられます。

この貴重な犬釘は、産業考古学会より2019年度の推薦産業遺産に認定され、世界遺産である石見銀山の学術的価値を高める発見の一つになりました。



発見された犬釘は、石見銀山世界遺産センター（大田市大森町）で、実物をご覧いただくことができます。

石見銀山世界遺産センター
大田市大森町イ1597-3 電話0854-89-0183